

2018年7～9月期GDP統計予測

(1) 2018年7～9月期の実質GDPは、前期比年率▲2.1%（前期比▲0.5%）と、2四半期ぶりのマイナス成長となる見込み（図表1）。もっとも、自然災害による輸出や消費の一時的な下振れが主因であるため、景気回復が続いているという判断は不変。

①個人消費（前期比年率▲1.4%、前期比▲0.3%）

2四半期ぶりに減少。高めの伸びとなった4～6月期（前期比年率+2.9%）の反動という側面のほか、西日本豪雨や北海道胆振東部地震等の自然災害によるマインド悪化が下押しに作用。

②住宅投資（前期比年率▲4.0%、前期比▲1.0%）

5四半期連続で減少。2018年初の着工減少の影響が進捗ベースで残存しているものの、4～6月以降の分譲住宅や貸家の着工減少の一服でマイナス幅は縮小。

③設備投資（前期比年率+1.4%、前期比+0.4%）

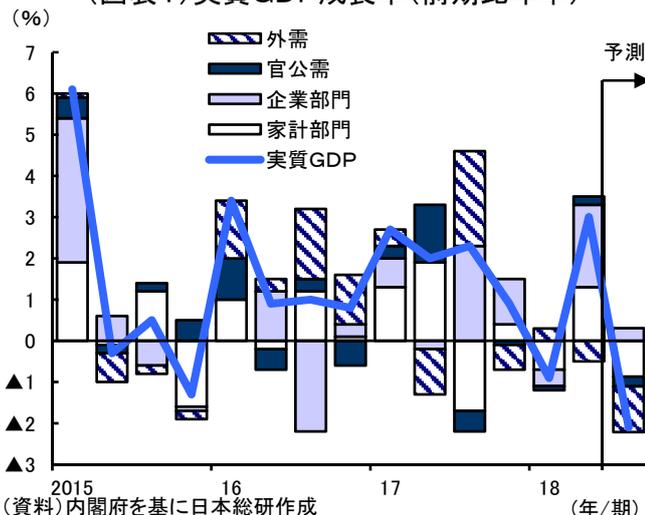
前期からプラス幅は大きく縮小したものの、増加基調は持続。良好な収益環境のもと、人手不足の深刻化などを背景に、製造業、非製造業ともに合理化・省力化投資が増加しているほか、生産能力を拡大させる動きも。

④外需（前期比年率寄与度▲1.1%ポイント、前期比寄与度▲0.3%ポイント）

輸出は前期比年率▲8.3%と大幅に減少。自然災害による一部工場の操業停止や、関西国際空港の一時閉鎖の影響もあって、財輸出が大きく減少。サービス輸出についても、災害発生後、訪日外国人が大幅に減少したことから、旅行収支受取を中心に減少。この結果、外需のGDP寄与は2四半期連続のマイナスに。

(2) 当面を展望すると、自然災害による悪影響は徐々に解消に向かっていることから、高めのプラス成長に復する見通し。10月の鉱工業生産予測調査では増産が計画されているほか、機械受注も回復基調が持続しており、10～12月期の設備投資の増加を示唆（図表2）。個人消費についても、賃金上昇ペースの加速を背景に、持ち直す見込み。もっとも、世界的な貿易摩擦の深刻化や中国経済の減速懸念が強まっているため、輸出の鈍化や企業マインドの悪化には留意が必要。

(図表1) 実質GDP成長率(前期比年率)



(資料) 内閣府を基に日本総研作成
(注1) 家計部門＝民間最終消費支出＋民間住宅。
(注2) 企業部門＝民間企業設備＋民間在庫変動。
(注3) 官公需＝政府最終消費支出＋公的固定資本形成＋公的在庫変動。
(注4) 外需＝輸出－輸入。

(図表2) 鉱工業生産と機械受注(季調値)



(資料) 経済産業省、内閣府
(注1) 白抜きは、予測指数による先延ばし。
(注2) 機械受注は3ヵ月後方移動平均値。

【ご照会先】 調査部 研究員 根本 寛之 (nemoto.hiroyuki@jri.co.jp, 03-6833-8913)

GDP統計予測表(2018年10月31日時点の公表系列をもとに作成)

(株)日本総合研究所 調査部

■ 前期比 (%, 十億円)

	実質GDP															名目GDP	デフレーター
	内需										外需						
	民需							官公需			輸出	輸入					
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫										
2017/ 4~6	0.5	0.8	0.6	0.8	1.3	0.2	▲439.4	1.4	0.4	5.3	51.4	▲1578.4	0.2	1.9	0.8	0.3	
7~9	0.6	0.0	0.2	▲0.7	▲1.4	1.3	2089.0	▲0.5	0.1	▲2.8	8.2	3192.4	2.1	▲1.5	0.8	0.2	
10~12	0.2	0.4	0.5	0.3	▲3.0	0.9	898.6	▲0.1	0.1	▲0.6	▲2.3	▲1089.6	2.1	3.3	0.3	0.1	
2018/ 1~3	▲0.2	▲0.3	▲0.4	▲0.2	▲2.5	0.7	▲1081.4	▲0.1	0.0	▲0.4	▲33.7	425.9	0.6	0.2	▲0.4	▲0.2	
4~6	0.7	0.9	1.1	0.7	▲2.4	3.1	44.2	0.2	0.2	0.0	16.5	▲673.6	0.2	0.9	0.7	▲0.0	
7~9	▲0.5	▲0.2	▲0.2	▲0.3	▲1.0	0.4	99.1	▲0.2	0.2	▲2.3	5.9	▲1449.1	▲2.1	▲0.6	▲0.5	0.0	

■ 前期比年率 (%, 十億円)

2017/ 4~6	2.0	3.1	2.3	3.1	5.2	1.0	—	5.6	1.4	23.0	—	—	0.7	7.8	3.1	1.1
7~9	2.3	0.1	0.9	▲2.7	▲5.6	5.4	—	▲2.1	0.3	▲10.9	—	—	8.6	▲5.7	3.2	0.9
10~12	0.9	1.5	2.2	1.4	▲11.5	3.5	—	▲0.3	0.2	▲2.4	—	—	8.8	14.0	1.2	0.3
2018/ 1~3	▲0.9	▲1.2	▲1.5	▲0.8	▲9.6	2.7	—	▲0.4	0.0	▲1.6	—	—	2.6	0.7	▲1.5	▲0.6
4~6	3.0	3.5	4.5	2.9	▲9.3	12.8	—	0.7	0.8	0.1	—	—	0.9	3.8	2.8	▲0.2
7~9	▲2.1	▲0.8	▲0.8	▲1.4	▲4.0	1.4	—	▲1.0	1.0	▲8.8	—	—	▲8.3	▲2.3	▲1.9	0.2

■ 前年同期比 (%, 十億円)

2017/ 4~6	1.6	1.1	1.0	1.8	5.7	2.7	▲986.7	1.4	0.9	3.7	6.5	460.2	6.8	4.3	1.2	▲0.3
7~9	2.0	1.3	1.5	0.6	1.4	3.8	255.8	0.6	0.6	0.4	14.3	858.6	6.9	2.7	2.1	0.1
10~12	2.0	1.8	2.0	1.0	▲2.4	3.2	786.5	1.0	0.8	1.2	38.6	234.3	6.5	5.3	2.0	0.1
2018/ 1~3	1.0	0.9	1.0	0.1	▲5.8	2.9	430.2	0.6	0.5	1.0	▲0.4	244.6	5.1	3.9	1.5	0.5
4~6	1.3	1.0	1.4	0.2	▲8.9	6.4	397.4	▲0.3	0.3	▲3.3	0.2	422.1	5.0	2.9	1.4	0.1
7~9	0.3	0.7	1.0	0.5	▲8.6	4.9	▲11.2	▲0.2	0.5	▲3.3	▲4.5	▲615.4	0.6	3.3	0.1	▲0.1

■ 前期比・寄与度 (%, %ポイント)

2017/ 4~6	0.5	0.8	0.4	0.4	0.0	0.0	▲0.1	0.3	0.1	0.3	0.0	▲0.3	0.0	▲0.3	—	—
7~9	0.6	0.0	0.1	▲0.4	0.0	0.2	0.4	▲0.1	0.0	▲0.1	0.0	0.6	0.3	0.2	—	—
10~12	0.2	0.4	0.4	0.2	▲0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	▲0.1	0.4	▲0.5	—	—
2018/ 1~3	▲0.2	▲0.3	▲0.3	▲0.1	▲0.1	0.1	▲0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	—	—
4~6	0.7	0.9	0.8	0.4	▲0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲0.1	0.0	▲0.2	—	—
7~9	▲0.5	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲0.0	0.1	0.0	▲0.1	0.0	▲0.1	0.0	▲0.3	▲0.4	0.1	—	—

■ 前期比年率・寄与度 (%, %ポイント)

2017/ 4~6	2.0	3.0	1.7	1.7	0.2	0.1	▲0.3	1.4	0.3	1.0	0.0	▲1.1	0.1	▲1.2	—	—
7~9	2.3	0.0	0.6	▲1.5	▲0.2	0.8	1.5	▲0.5	0.1	▲0.6	0.0	2.3	1.4	0.9	—	—
10~12	0.9	1.5	1.5	0.8	▲0.4	0.5	0.6	▲0.1	0.0	▲0.1	0.0	▲0.6	1.4	▲2.0	—	—
2018/ 1~3	▲0.9	▲1.2	▲1.1	▲0.4	▲0.3	0.4	▲0.8	▲0.1	0.0	▲0.1	0.0	0.3	0.5	▲0.1	—	—
4~6	3.0	3.4	3.3	1.6	▲0.3	2.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	▲0.5	0.2	▲0.6	—	—
7~9	▲2.1	▲0.8	▲0.6	▲0.8	▲0.1	0.2	0.1	▲0.2	0.2	▲0.4	0.0	▲1.1	▲1.5	0.4	—	—

■ 前年同期比・寄与度 (%, %ポイント)

2017/ 4~6	1.6	1.1	0.8	1.0	0.2	0.4	▲0.7	0.4	0.2	0.2	0.0	0.4	1.1	▲0.7	—	—
7~9	2.0	1.3	1.1	0.3	0.0	0.6	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.7	1.1	▲0.4	—	—
10~12	2.0	1.7	1.5	0.5	▲0.1	0.5	0.5	0.2	0.1	0.1	0.0	0.3	1.1	▲0.8	—	—
2018/ 1~3	1.0	0.8	0.6	0.1	▲0.2	0.5	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.9	▲0.7	—	—
4~6	1.3	0.9	1.0	0.1	▲0.3	0.9	0.3	▲0.1	0.1	▲0.1	0.0	0.4	0.9	▲0.5	—	—
7~9	0.3	0.7	0.8	0.3	▲0.3	0.8	▲0.0	▲0.1	0.1	▲0.2	▲0.0	▲0.5	0.1	▲0.5	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。